

令和3年7月13日

学校規模適正化調査特別委員会

阿久根市議会

1 会議名 学校規模適正化調査特別委員会

2 日時 令和3年7月13日(火)

午後3時開会
午後3時15分散会

3 場所 議場

4 出席委員

濱田洋一委員長、濱崎國治副委員長、竹之内和満委員、
川上洋一委員、濱門明典委員、白石純一委員、
竹原信一委員、仮屋園一徳委員、中面幸人委員、
牟田学委員、岩崎健二委員、木下孝行委員、
濱之上大成委員、山田勝委員

5 事務局職員 局長 牟田昇、次長兼議事係長 上脇重樹

6 会議に付した事件

本市の小・中学校における適切な規模に関する調査について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

調査の経過概要

○ 本市の小・中学校における適切な規模に関する調査について

濱田洋一委員長

ただいまから学校規模適正化調査特別委員会を開会いたします。

前回の本委員会において、調査の方法を協議していただき、まずは、学校の現地調査を行うこととなったことから、7月5日、8日、本日の3日間で、市内全小・中学校の現地視察を行いました。

そこで、今後の調査事項についてお伺いしたいと思います。

前回までの委員会において、まずは学校の視察を行い、状況に応じて所管課に質疑を行っていくことといたしました。現在、教育委員会では、第2次学校規模適正化基本方針を踏まえ、市内の各小・中学校の保護者に対し、説明・意見交換会を開催されています。また、これに引き続き、地域住民に対する説明・意見交換会も開催されます。このことを踏まえ、次の調査事項は、教育委員会が地域住民に対する説明・意見交換会を終えた後に、今回の現地調査並びに保護者及び地域住民に対する説明・意見交換会に関することについて所管課に出席を求め質疑を行うこととしたいと考えておりますが、御異議ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

なお、この調査の日時などについては、委員長に御一任願います。

それでは、ほかに委員の皆様方から御意見ございませんか。

白石純一委員

教育委員会が独自に保護者、地域の方々の御意見を聞く機会を設けておられるわけですが、私ども議会としても保護者、未就学児の保護者、そして地域の方々の意見を聞く会を独自に、例えば、今年の議員と語る会についてはこの統廃合に関連した方々を対象にして、それを目的で開くことも考えられるのではないかなと思います。

濱田洋一委員長

今、白石委員からあったことについては、先日の当委員会におきましても、そのような御意見、要望をいただいたところがございます。私と事務局で話をしましたところ、保護者、地域住民の方々、そして未就学児の保護者の方々との意見交換会も大切なことではなかろうかと思っております。しかしながら、64歳以下の方々にはまだワクチン接種がなされていない状況でございます。そういった状況を踏まえ、今後の委員会の中でどういった方向で行っていくと、先ほど、広報広聴委員会との連携を図り、語る会の議題として取り上げたほうがいいんじゃないかということでもありましたので、今後のコロナワクチン接種の状況を踏まえながら進めていければと考えておりますけれども、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

竹原信一委員

大分報道などで誤解されておりますけれども、ワクチン接種で感染の広がりが止まるという証拠はないというのは厚生労働省も認めておるところであります。

それと、この学校適正化という問題については、そもそものテーマ、適正な学校規模とい

うのはあり得るのかということを中心に立ち返って考えないかと思っています。私どもが回ってきたところでは特認制度による子供たちの入校が多いというところがありまして、それは子供たちに教育の選択肢を与える重要な機能を果たしているということが私には分かりました。どうも教育委員会、阿久根市の今までの計画というのは、その点を見落としているんじゃないかと私は強く思っているところなんです。ですから、そもそもの適正なんていうのは教育する側からのものの考え方ですから、なるべく効率的にやっつけてしまえみたいな感じで、そこに合わない子供たちにとっての場を提供するという意味で今の状況があるので、これを真っすぐ見て、この価値を見直す必要があると私は思います。そういった視点からも見ながら、教育委員会あるいは保護者の人たちと話をしていくべきだろうと思います。

私の意見です。

濱田洋一委員長

今、竹原委員の意見ということで確認させていただきました。今お話があったことにつきましても、今後、本委員会を進める中で、前に進めていけるようにやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

ほかの委員の皆様から御意見ございませんか。

中面幸人委員

今度の各小・中学校の現地調査で感じたこととして、私的には、基本的な考え方というのは、時代の流れに応じて統廃合は進めなければいけないなあとっておる中で、10年前にこういう問題が起きた時と今度学校を訪問した時の教育環境の違いをすごく感じました。というのは、皆さん御存知のとおりだと思いますが、普通教室に比べて支援学級の多さにすごく驚いたところでございます。

小規模校に通わせている子供たち、父兄から見れば、不安もいっぱいあると思うんです。その中で、行政の考え方、そしてまた地域の考え方もそれぞれあるかと思いますが、今後の進め方で、先ほど話がありました、教育委員会として今後、保護者や各地域との意見交換をするということですが、議会としては、保護者の一人一人の考え方も大変重要だと思っておりますので、例えば、教育委員会が各保護者へのいろんなアンケートをすれば、それを議会として参考にしたい、保護者の思い、考え方も議会として知る必要があると思えます。もし教育委員会でそういうアンケート調査をすれば、それを参考にすればいいし、しなければ議会もちゃんと保護者の思いを分かり合いたいと思っておりますので、今後そういうことも考えながら調査を進めてほしいと思えます。

濱田洋一委員長

ただいまありました中面委員からの御意見でございますが、この前、教育委員会から皆さんに冊子を配られたと思うんです。第2期阿久根市の教育基本計画か何か、白い冊子でありましたが、その中にアンケートを取られた内容が記載してございます。それも議会としても熟読し確認した中で、それと今、中面委員が言われたのは、保護者の方々等の生の意見もお聞きしながら、よりよい方向に進めていきたいという御意見だと思っておりますので、先ほど来、白石委員からもありましたとおり、まずは本日までの3日間の学校の現地調査、それから7月、8月に開催されます未就学児の保護者、地域住民の方々との説明・意見交換会を終えた後に教育委員会への質疑を行うということで、具体的に進めていきたいと思っておりますが、そのようなことでよろしいでしょうか。

〔「はい、よろしいです」と呼ぶ者あり〕

白石純一委員

補足ですけれども、中面委員から教育委員会のアンケートということで、冊子は私も拝見しましたけれども、そのアンケート自体の生のアンケートも見てみたいと思います。またそれで不十分だと感じた場合は、議会独自でアンケートをすることもできるかと思います。例えば、本日、三笠中の先生がおっしゃっていました、今や保護者にもスマホ、パソコンを通じてアンケートを取っていると。ほとんどの方がスマホかパソコンをお使いなので、大多数の方には紙ではなくそういった形で素早くアンケート、そして集計まで自動的に出来ると。それが今、社会では一般的ですので、そういった形でも十分できるのかなと思っております。

あと、阿久根はこういう形で教育委員会が方針を出しました。一方で、地域性としては似通っております隣の出水市では、統廃合は進めないという方針を打ち出しておられます。そこでぜひ一度、参考人としてお話を聞きたいなと思っておるのが、この3月まで出水市の教育長を務められた溝口元教育長です。私はこちらをお呼びして、参考に御意見を聞きたいなという思いを持っております。そして、出水市だけではなく、全国には様々な取組をされている自治体、事例がございます。今やICTを使って、小規模校がリモートで大きな学校とつないでやっている例もございます。また、昔のように小学校同士が離れていて移動に時間がかかることもなく、今や各小学校は車で5分、10分以内に移動できる場所にあります。したがって、その機動性も生かして、おそらく10年以内には自動運転も実現化する可能性は高いと思います。そういったことを考えると、これまでの教育の在り方を将来どうなるかということも見直しながら進めていくことも大事ですので、そういった先進的な取組をしている自治体の例も勉強できればと思っております。

濱田洋一委員長

ただいま、白石委員からの御意見ということで承りました。

ほかにございませつか。

竹原信一委員

今、白石委員から出ました元教育長の方のお話を聞くというのは進めていただきたいと思ひます。出水市が統廃合を進めないという方針を決めたので、出水市の教育長をやられていた方のお話を聞きたいという先ほどの提案は進めていただけないでしょうか。

濱田洋一委員長

出水市の元教育長であられた溝口先生は、現在、出水市にはいらっしやなくて市外に住んでいらっしやるといふことですのでけれども、白石委員、そして竹原委員のほうから、先生の御意見、考え方をお聞きしたいといふことがございました。このことについても、この委員会において必要だといふことであれば進めていきたいと思ひますが、よろしいですか。

〔「はい」、「お願いします」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにございませつか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で本日の学校規模適正化調査特別委員会を散会します。

散会 午後3時15分

学校規模適正化調査特別委員会委員長 濱田洋一